



《目次》

盛大に創立50周年を祝う……………	2
創立50周年記念事業を終えて……………	3
学部執行部……………	5
農学校友会（農学科・植物資源科学科）…	6
紫友会（農芸化学科）……………	7
角笛会（獣医学科）……………	8
満喜葉会（畜産学科・動物資源科学科）…	9
いもづる会（食品経済学科）……………	10
あすなろ会（林学科・森林資源科学科）…	11
桜水会（水産学科・海洋生物資源科学科）	12
工学会（農業工学科・生物環境工学科）…	13

FT会（食品工学科・食品科学工学科）…	14
拓友会（拓植学科・国際地域開発学科）…	15
むつあい会（短期大学部農学科）……………	16
生活環境学科校友会 （短期大学部生活環境学科）……………	17
応用生物科学科校友会 （応用生物科学科）……………	18
支部だより……………	19
記念式典・記念祝賀会をふり返って……………	21
校友会役員・事務局名簿……………	22

盛大に創立50周年を祝う

記念式典で式辞を
述べる茂澤会長 ▶

総会で記念講演を
行う瀬在総長 ▼



平成10年度総会

創立50周年にあたる平成10年度総会は、7月11日13時より湘南校舎第2講義室で開催された。

木村貞司事務局長の開会の辞に始まり、茂澤会長挨拶、議長には茂澤会長が選任され、議事へと進んだ。議事は平成9年度の一般経過報告、会計決算報告（収入37,036,954円、支出37,036,954円）に関する報告がなされ、野田郁夫監事による監査報告があり承認された。

ついで、平成10年度の事業計画に関し、会員数71,087人、準会員数7,782人が報告された。ひきつづいて開催される校友会創立50周年記念式典、祝賀会、50周年記念誌発行、会員名簿発行、会報発行等が説明された。これらの事業に必要な予算案として収入38,500,000円、支出26,422,200円が提案され承認された。

創立50周年記念式典

湘南校舎本館4階第1講義室において14時より木村事務局長の司会のもとで、富澤寿樹副会長の開会の辞に始まり、ついで物故者黙祷がなされた。式辞は実行委員長茂澤会長、引き続きご祝辞を総長瀬在幸安先生と学部長門田定美先生より頂いた。

創立50周年を記念して新調された日本大学生物資源科学部校友会旗の『入魂の儀』は地元亀井野の御嶽神社・亀井神社の宮司嶽山氏によりとり行われた。玉串奉奠は茂澤会長、総長瀬在先生、理事長森田賢治先生、学部長門田先生によりなされた。

学部管弦楽団とフォークソングクラブの協力のもとで、約350名を超す参列者の校歌斉唱は式典にまことにふさわしい雰囲気を出し、村田昇副会長の閉会の辞で厳粛のうちに無事終了した。

創立50周年記念祝賀会

祝賀会は15時30分湘南校舎NUSCホールにおいて司会村田副会長、本江一郎事務局長のもとで富澤副会長の開会挨拶で開始された。

学部校友を代表し、茂澤会長から昨年度会報にも紹介された湘南キャンパス整備計画に関する13学科校友会と学部校友会からの記念品が門田学部長に贈呈された。学部長から謝辞に伴い整備計画の趣旨が紹介された。

ご来賓の紹介のあと吉事の事として日本大学総長瀬在先生、理事長森田先生、副総長秋山正幸先生、副総長杉井弘和先生、常務理事山澤新吾先生、学部長門田先生、事務局長山内二夫先生、準会員の学生を代表して学部三連盟の委員長、茂澤会長が鏡開を行なった。

乾杯は森田理事長の音頭で行われた。台湾支部の林会長からの祝辞が来日中の廖博士により代読され、なごやかな懇談の間にも祝電披露、抽選会と進んだ。

さらなる発展を祈念した万歳三唱は前学部長久木田賢志先生によって行われ、最後は近藤良三副会長の挨拶で閉会となった。

なお、参加者には創立50周年事業の一環として作成された創立50周年記念誌、会員名簿または名簿CD-ROMが記念品と共に贈られた。

校友会創立50周年記念事業を終えて

日本大学生物資源科学部・農獣医学部校友会

会長 茂 澤 晃



平成10年7月11日、この日、日本大学生物資源科学部校友会は、創立50周年の記念すべき日を迎えました。もっとも、校友会としての50年の歴史は必ずしも長いとは申せません。既に、日本大学の先発学部の校友会では、100年以上のところもあり、こうした歴史に比べれば私達は、ようやく青年期に達したものであろうかと思えます。けれども、先師先人達が、草創期に叡知ともてる活力を発揮され、今日の磐石のいしずえを築かれ、そこに今のすがたに達し得たと思うとき、ひたすら感慨一途であり、感謝の念にうたれざるを得ません。

平成8年7月の総会で、記念事業の一環として、式典、祝賀会の開催、会員名簿の発行、50年誌の刊行、さらに、学部校友会旗の作成が承認されました。その後、それぞれの委員会が発足し、委員長を中心に着々実施に移りました。平成9年10年と各委員会は、いくどとなく会合を開かれ、ともかくも50年の記念すべき日に間に合せようと真摯かつ建設的に作業を進められました。この間、学部当局をはじめ、

多くの会員各位の熱意と暖かいご支援ご協力により、結果として内容の濃いものとなり、会員名簿・記念誌の完成をみ、式典・祝賀会はまことに荘厳かつ華麗なものに終始できました。そして、この快挙は実に、13分会と事務局スタッフの汗しでの成果とも申しましょう。また、将来校友会を支える準会員（学生諸兄姉）のご協力も忘れられません。ここに関係各位に対して、心からの敬意と感謝を申し上げる次第です。

稽古照今という言葉がありますように私達は、こうした機会にこそ、ここに学んだお互いが光栄ある母校の伝統をあらためて回顧し認識し、さらに、50年を起点として校友会が、母校発展の推進力となるために、一層の結束と友愛の中からの飛躍発展を銘記したいと思うからです。

会員各位におかれては、このうえとも校友会に変わらぬご支援ご鞭撻を切に希望いたしてお礼のご挨拶とさせていただきます。

(日本大学評議員・日本大学校友会副会長)



記念祝賀会での鏡割



校友会旗入魂の儀



参会者にあいさつする各分会長



祝賀会での懇談風景

駅名に「日大」がつく

小田急「六会日大前」と改称

平成10年8月22日より小田急江の島線六会駅が「六会日大前」と改称された。

小田急線の看板は新名称に書き替えられ、日大関係者ばかりでなく、多くの人の目に日大の文字が写るようになった。車窓から見える生物資源科学部の湘南キャンパスは新駅名として『湘南地区と新たな日大』がより一層発展されることを市民と共に願うものである。



本館4階より望む
六会日大駅の風景

記念誌刊行事業を振り返って

記念誌編集委員会

委員長 村田 昇

学部校友会50周年記念事業の一環として記念誌を担当する編集委員会の編成が決定されたのは平成8年7月のことであります。

編集委員会は各分会から選出された委員と木村事務局長をはじめ学部校友会事務局の皆さんによって編成されました。

記念誌は10年前の昭和63年6月に刊行された「校友会四十年略史」を活用し、半世紀の節目にあたることから記録の整理に力点を置くことといたしました。

また、茂澤会長から編集委員会へ向けて、①50年の節目であることから記録をしっかりと整理して後世に残すこと②これからの校友会への意見を会員から広く募集し、特に若い会員からの声も寄稿文として多く収集し、掲載してほしい。この2点が要望されました。

また、編集委員会の討議のなかから印象に残っているいくつかの建設的な意見を以下に紹介します。

①年表の充実を図る②校友会草創期の足跡を回顧するためその時代背景等を整理し、後輩たちへ周知させる③資源を大切に、地球環境保全等に少しでも貢献する願いから極力再生紙を使用する。

これ等の意見の他、委員以外の諸先輩からも、貴重な写真、資料の提供や適切なご意見、アドバイスを賜りました。

また、表紙の色については亀井野の草創期に自生していたといわれる「ムラサキ」を意識して全員一致して決定したものです。

いま、これ等の意見を出来るだけ反映した記念誌が刊行され感激もひとしおであります。この記念誌が今後の校友会発展の一助になれば望外の喜びであります。最後に寄稿文を執筆していただいた諸先生と会員の皆様、また、編集にご苦労された事務局の丹羽先生、委員の皆様に厚くお礼申し上げます。

会員名簿刊行にあたり

名簿編集委員会

委員長 近藤 良三郎

この度、学部校友会設立50周年記念事業の一つとして会員名簿を発行する事になり、13の分会より、それぞれ委員が選出されて編集委員会が設置されました。

前回の発行以来、既に10年を経過し、その間の校友の増加、変動も多く、先づ会員の消息を正確に把握する事から始まりましたが、それは誠に根気のいる作業でありました。

完了までには10回を超える会合が持たれましたが、ご協力をいただいた学部並びに各分会の事務局長はじめ編集委員の方々の並々ならぬご努力によって、ようやく七万一千余人の名簿が発行される事になりました。

この作業にご協力いただいた方々の熱意とご努力に対し心から敬意を表し感謝申し上げます。

この名簿は「コンピュータ管理」となる時代の要請にも充分応えられる様配慮し、冊子型式の名簿と共にCD-ROMを併せて製作いたしております。

更に、昨年来大学本部では所沢情報センターを活用して「オール日大」の名簿作成の作業を始めておりますが、これにも充分役に立つものと考えております。

本名簿を、校友相互の親睦の為に、更には日常生活に大いに活用される事を切に願っております。

本名簿は学部校友会に用意されておりますのでお求めにより有料にてお送り申し上げます。

尚、この名簿の記事で、訂正すべき箇所気付かれた時或いは発行後に移動のあった場合は是非校友会事務局にご連絡下さる様お願い申し上げます。

学 部 執 行 部

平成10年10月現在の学部執行部は次のとおりです。

【学部長】

門田 定美（68才）教授。日本大学農学部水産学科卒業。担当科目は海洋環境学。

【事務局長】

山内 二夫（61才）参事。日本大学農獣医学部農業経済学科卒業。

【学部次長（湘南校舎）】

別府 輝彦（64才）教授。東京大学大学院化学系研究科修了。担当科目は応用微生物学。

【学部次長（東京校舎）】

出口 吉昭（69才）教授。日本大学農学部水産学科卒業。担当科目は増殖学概論。



【学務担当】

酒井 健夫（55才）教授。日本大学農獣医学部獣医学科卒業。担当科目は獣医衛生学。

【学生担当】

名取 正彦（64才）教授。日本大学農獣医学部農学科卒業。担当科目は酵素化学。

【研究担当】

佐々木恵彦（63才）教授。東京大学大学院生物系研究科修了。担当科目は林木育種学。

【情報科学担当】

有賀 豊彦（56才）教授。日本大学農獣医学部農芸化学科卒業。担当科目は栄養化学。



【就職指導担当】

望月 篤（60才）教授。日本大学農獣医学部水産学科卒業。担当科目は水産利用学。

【事務長】

松橋 一三（57才）参事。日本大学経済学部経済学科卒業。



【事務長（東京校舎担当）】

塚原 勝信（62才）参事。県立武雄高等学校卒業。



【経理長】

與田 春季（56才）参事。日本大学商学部商業学科卒業。

（注）顔写真の方は執行部新任。



記念事業として刊行した「記念誌・会員名簿・CD-ROM会員名簿」

農 学 校 友 会

◇農学科・植物資源科学科◇

連絡先 緑地環境計画学研究室
0466-84-3623 藤野 武彦

平成10年度総会・懇親会開催

農学校友会総会に代わる幹事会が6月13日(土)に開催された。主な議題は 1) 平成9年度事業一般経過報告と決算報告 2) 平成10年度事業計画と予算案 3) 農学校友会の卒業記念品の追加製作

(特に女子学生に対するスカーフピン) 4) 名簿発行(今年度中に校友に発送) 5) 50周年記念事業準備委員会の発足(平成15年(2003)に記念式典と記念誌を発行等) 6) 新理事の追加(30期以降の若い幹事から理事が5名選出された) 小木曾裕氏(住宅・都市整備公団; 31期卒); 川上徹也氏(農水省関東農政局山梨統計情報事務所; 41期); 近藤美保氏(株・カシーナ; 47期); 葉山博史氏(自営; 49期); 太田敏史氏(住宅・都市整備公団; 51期)。すべての議題は満場一致で承認されました。その後、学生食堂にて学部校友会会長はじめ各分会招待者と共に懇親会を行い盛会裏に終了しました。

学 科 の 近 況

昭和43年より長年に亘り学科の発展にご尽力くださった石原康教授(応用昆虫学研究室)並びに平成3年より教鞭をとられた高橋理喜男教授(造園学研究室)は昨年度で定年退職されました。また、吉田伸子副手も退職されました。今後ともご健康でご活躍されますことをお祈りします。

福原敏彦教授



穴戸理恵子助手



今年4月より新たに、福原敏彦教授(応用昆虫学研究室)が東京農工大学より、穴戸理恵子助手(北海道大学大学院博士課程修了)が遺伝育種学研究室に着任されました。先生方のますますのご活躍が期待されます。

学科主任は米田和夫教授が、大学院農学専攻主任は篠原正行教授、付属農場長は坪木良雄教授が就任され、活躍されております。

学年の構成は、植物資源科学科1、2、3年生、農学科4年生となり、今年度が最後の農学科卒業生となります。また、学生の男女比率は6:4となり、数年後は5:5になると予測されます。

国際化に伴い、学科、学生の国際交流が活発化してきており本年初の試みとして、台湾国立中興大学に農・園芸実習の研修を12月中・下旬(冬休み中)に計画しております。

また、国際学会発表も盛んになり、国際園芸学会議(ベルギー)、無脊椎動物病理学国際会議(北海道)、アメリカ農学会議(アメリカ)、国際芝草学会議(オーストラリア)で研究発表をしております。また、国際稲研究所(IRI, フィリピン)に短期出張し、国際研究に力を入れており、ますますの学科の発展に努力しております。



学生の実験風景



28回目を迎えた収穫祭

計 報

昭和23年より44年間の長きに亘り、当学科の発展と学生教育に多大なるご尽力をいただきました佐々木弘康先生(1期卒:元本学科教授)が平成9年10月19日に膠原病のため永眠されました。享年71歳でした。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

(井上 弘明)

紫 友 会

◇農芸化学科◇

連絡先 植物栄養生理学研究室
03-3421-5492 長谷川 功

平成9年度総会・懇親会を開催

平成9年度の紫友会総会が平成9年11月15日、東京新宿区にあるプチモンドで開催された。総会では茂澤果会長の挨拶の後、平成8年度の事業報告、決算報告、監査報告ならびに平成9年度の事業計画、予算案について厳正に審議がなされ、いずれも承認された。

総会の後、多数の来賓と会員が出席し懇親会が盛大に行われた。懇親会には紫友会平成9年度（第4回）奨学生が招待され、懇親会の席上で表彰が行われた。

農芸化学科の近況

【人事】

有賀豊彦教授は本年3月より学部執行部情報科学担当として活躍されている。

本年4月1日付で食品化学研究室の櫻井英敏先生が教授に昇格された。また、土壌学研究室の隅田裕明先生が助教授に、植物栄養生理学研究室の野口章先生が専任講師に昇格された。

隅田裕明助教授は日本大学海外派遣研究員として本年1月よりオーストラリアのCSIROに留学されている。植物栄養生理学研究室の長谷川功助教授も日本大学海外派遣研究員として本年3月より6月まで西オーストラリア大学に留学された。生物有機化学研究室の西尾俊幸専任講師はカナダの国立科学研究所での1年間の留学を終え、本年7月末に帰国された。

農芸化学科はスタッフは現在、教授（矢崎仁也、大石邦夫、山本一彦、徳山龍明、有賀豊彦、奥 忠武、櫻井英敏）7名、助教授（長谷川 功、隅田裕明）2名、講師（加藤 順、関 泰一郎、高橋令二、熊谷日登美、西尾俊幸、野口 章）6名、助手（荻原 淳、川東正幸）2名、副手（木村みつ美、長倉かすみ）2名の計19名となり、一丸となって研究・教育にあたっている。現在、農芸化学科（山本一彦主任教授）には1年次163名、2年次149名、3年次169名、4年次150名の計631名が在籍しているが、55%に相当する350名が女子学生である。また、大学院農芸化学専攻（徳山龍明主任教授）には博士前期課程に29名（内女子6名）、博士後期課程には2名が在籍している。本年3月には農芸化学専攻より2名の課程博士が誕生した。

【平成10年度第5回紫友会奨学生決定】

紫友会40周年記念事業の一環として発足した紫友会奨学生の第5回生10名が、同奨学生選考委員会により厳正に選考された下記のように決定した。女子学生の増大を反映してか今回の紫友会奨学生は全員が女子学生であった。第5回紫友会奨学生の表彰は本年11月の紫友会総会・懇親会時に行われる。

2年次 介川尚子、山本有紗、吉澤菜穂子

3年次 鶴見知子、中川佐知子、則松優子

4年次 木野村奈美、富田多恵、沼尻真由美

大学院農芸化学専攻1年 安田真紀

紫友会事務局より

平成9年度総会・懇親会が11月14日（土）に開催されます。会場は中華料理『井門』（渋谷区道玄坂2-6-16インテリア井門地下1階、03-3462-1140）で午後3時からです。懇親会では懐かしい顔ぶれから現役学生の紫友会奨学生までが一同に会し、旧交を温め楽しいひとときを過ごせると思います。奮ってご出席くださいますようお願いいたします。（関 泰一郎）



総会における紫友会奨学生の表彰

角 笛 会

◇獣医学科◇

連絡先 獣医微生物学研究室
0466-84-3635 鎌田 寛

角笛会総会を開催

平成10年度角笛総会が平成10年6月13日(土)、本学において開催されました。併用9年度の事業、決算報告のあと平成10年度の事業計画、予算案、新役員が審議、承認されました。新役員ならびに事務局は以下の通りです。

新役員(敬称略)

顧問 問: 太田亨二(S23年卒)

支部長幹部: 長谷川良博(福島、S23年卒)、佐藤忠敬(山梨、37年卒)、堀内和夫(奈良、20年卒)、梶原昌一(岡山、34年卒)

学外幹事: 広瀬美智子(44年卒)、中島寛史(48年卒)、石部孝宏(H10年)、相澤ちあき(H10年)

学内幹事: 木村順平(S55年卒)

丸山総一(S59年卒)

新事務局

事務局長: 鎌田寛

(S53年卒、助教授、獣医微生物学)

総務担当: 森友忠昭

(S61年卒、専任講師、魚病学)

会計担当: 木村順平

(S55年卒、助教授、獣医解剖学)

会誌担当: 丸山総一

(S59年卒、助教授、獣医公衆衛生学)

名簿担当: 上床和弘

(S61年卒、専任講師、獣医伝染病学)

併用9年度アニマルメディカルセンター支援基金研究助成金(50万円)が、永田雅彦非常勤講師に授与されることに決定しました。

獣医学科の近況

○獣医師国家試験 第49回獣医師国家試験の結果が平成10年3月20日に発表されました。本学から164人が受験し149人(90・9%)が合格しました。(全国平均85・7%)。合格率は全国16獣医系大学中11位、私立大学の中では3位でした。

○表彰、学位等の授与 今年度卒業生の総長賞・学部長賞は相澤ちあきさん、学部長賞は服部聖子さん、獣医師会長賞は上野弘道君に授与されました。また、ケニアの家畜衛生、とくに眠り病を媒介するツェツェバエ対策に貢献し、読売国際交流賞を受賞された神戸俊平氏(S44年卒)に学部長賞が授与されました。

角笛会会長賞は、石名坂豪君と藤牧由里子さんに

授与されました。

今年度、大学院獣医学専攻を終了した大内敦夫君、白井活光君に博士(獣医学)が授与されました。論文提出により博士(獣医学)を取得された方たちは、長岡宏美氏(S62年卒)、永岡勝好氏(S39卒)、村上久子氏(S62卒)、鍋谷政広氏(S44卒)、石橋和樹氏(北大卒)、安原加壽雄氏(S48年卒)の6名です。

○学年担任

1年次: 勝部泰次教授(獣医公衆衛生学)

伊藤卓立助教授(獣医公衆衛生学)

丸山総一助教授(獣医公衆衛生学)

2年次: 田中茂男教授(獣医外科学)

小坂俊文講師(獣医外科学)

3年次: 渡部敏教授(獣医生理化学)

野上貞雄助教授(医動物学)

4年次: 武石昌敬教授(獣医臨床繁殖学)

木村順平助教授(獣医解剖学)

5年次: 岡野眞臣教授(獣医組織発生学)

湯川眞嘉助教授(実験動物学)

6年次: 潘英仁教授(獣医臨床病理学)

浅野隆司助教授(獣医薬理学)

○退職 藤原公策教授(獣医第二病理学)、金井薫副手(獣医生理化学)、上野公子副手(獣医衛生学)、畦川奈都子副手(獣医病理学)、榎原晶子副手(獣医第二病理学)が退職されました。ご苦労様でした。

○昇格 木村順平先生(獣医解剖学)、丸山総一先生(獣医公衆衛生学)が助教授に、上床和弘先生(獣医伝染病学研究室)が専任講師に昇格されました(平成10年4月1日付け)。おめでとうございます。

○新任 長谷川篤彦教授(獣医臨床病理学)、竹内啓教授(獣医総合臨床)、伊藤琢也助手(獣医衛生学)、田中智子副手(獣医生理科学)、松田陽子副手(獣医薬理学)が採用されました。頑張ってください。



長谷川篤彦教授



竹内 啓教授



伊藤琢也助手



田中智子副手



松田陽子副手

◇求人のお願い◇

女子学生の増加に伴い、小動物臨床の勤務医を希望する者が増えています。会員からの求人申し込みは学部就職指導課ならびに6年次担任(潘英仁教授、浅野隆司助教授)までご連絡ください。

(丸山 総一)

満喜葉会

◇畜産学科・動物資源科学科◇

連絡先 畜産食品科学研究室
0466-84-3651 宮原 晃義

満喜葉会役員会を開く

平成10年5月23日13時30分より生物資源科学部湘南校舎第4会議室において、平成10年度満喜葉会第1回役員会が開催されました。役員会は会長挨拶の後、会則に従って会長を議長として議事に移り、平成9年度事業経過並びに会計決算が事務局より報告され承認されました。また、会計監査より監査結果についての報告がなされ承認されました。次に、平成10年度事業計画並びに予算案が事務局より提案され、審議後承認されました。事務局分掌の変更について平田会長より提案され、新事務局分掌が承認されました。

新入生歓迎会開催

毎年恒例の動物資源科学科新入生歓迎会が5月23日、湘南校舎において開催されました。当日はグラウンドでのソフトボール大会と一週間後に控えた学部運動会の参加競技の練習などで皆心地よい汗をかきました。その後、NUSCホールにおいて満喜葉会理事・幹事を交えた懇親会が催され、学科主任中西教授や平田満喜葉会会長の挨拶の後、新入生との親睦を深めました。

事務局長の交代

今年度から小牧弘先生に代わり宮原晃義先生が新事務局長として事務局の運営を担当されることになりました。前事務局長の小牧先生には長年に亘って満喜葉会のためにご尽力頂きましたことに心よりお礼を申し上げます。これに伴い事務局分掌は以下のようになりました。

事務局長：宮原晃義
庶務：泉水直人、丹羽佳苗
会計：増田哲也、青木由加
名簿：塩谷正勝、小泉聖一
会報：丹羽美次、園田豊、山室裕

学科の近況

退職

平成10年3月末日をもって、柴田章夫教授が定年退職されました。柴田先生は名古屋大学より本学へ赴任されて以来、長年に亘って学科の発展にご尽力されました。今後ともご健康でご活躍されますことをお祈りします。

新任教員の紹介

平成10年4月より阿部亮教授(写真)を動物資源科学科の新スタッフとして迎えることになりました。阿部先生は、昭和41年宇都宮大学農学部を卒業後、農林省畜産試験場において長年に亘って研究活動をおこなってこられました。今年度より飼養学研究室に所属し栄養生理学、産肉科学、産乳科学等を担当されます。



昇格

平成10年4月より丹羽美次専任講師(草地学研究室)が助教授に、園田豊助手(動物生殖学研究室)と山室裕助手(動物育種学研究室)が専任講師にそれぞれ昇格されました。

◇事務局から

本会会員は今春平成9年度の卒業生144名を新たに迎え6026名となり、準会員も一年生146名(女子97名)を迎え618名となっております。数年前より在籍学生の女子の割合が増加しています。しかし、学生、特に女子学生を取り巻く就職は極めて厳しい環境にあります。これに関しての情報等がございましたら、事務局までご連絡をお願い致します。

昨年会員皆様のご協力により名簿を発行することができました。今後も円滑な名簿作成を行うに当たり、転動による住所変更、結婚などによる氏名の変更の際には、お手数でも事務局までご連絡ください。
(園田 豊)

いもづる会

◇食品経済学科◇

連絡先 食生活経済論研究室
03-3421-5654 安村 碩之

50周年記念

式典・祝賀会を開催

いもづる会50周年記念式典・祝賀会が、去る6月6日(土)午後四時より、ダイヤモンドホテル(東京半蔵門)で開催され、約200名の会員と多数の来賓をもって盛会裡に終わった。

式典では、来賓の方々からご祝辞を頂戴し、そのあともづる会の発展にご尽力頂いた故・佐藤弘一前会長と故・角井信前副会長に感謝状の贈呈が行われ、学科への記念品として応援旗が贈呈された(写真掲載)。

祝賀会は、50周年記念事業実行委員長の村山進副会長の「校友会は学園での縁で結ばれており、友達、友人の縁は父母、兄弟、妻子にも匹敵します」という開宴の挨拶で始まり、季節の果物を中心とした食品物産抽選会も行われ、終始和やかな雰囲気包まれていた。

また、記念事業の一環として校友名簿に主眼を置いた「学縁-いもづる会50周年記念誌-」が発行された。この記念誌のネーミング「学縁」は三木会長が常日頃から使われる言葉で、村山副会長の開宴の挨拶にもあるように「学園で結ばれた縁(校友の絆)」をますます固く、そして強くしたいという、6,000名を超える校友の願いが込められている。

〈学科 よもやま話〉

今春、食品経済学科は159名の新入生(うち47名が女子)を迎えた。4月25日(土)には新入生歓迎研修会が、初めての試みとして東京校舎で行われた。東京校舎での開催は、1年次を湘南校舎で過ごす新入生に、2年次から卒業時までを過ごす東京校舎の雰囲気を知ってもらいたいという1年次担任の希望によるものであり、学部施設(食品加工実習センター、東京校舎図書館、統計資料室)の見学や、上級生の企画による学食での懇親会などが行われた。

7月31日(金)には、学部主催のオープンキャンパスが湘南校舎で開催された。当学科では、経済調査実習やゼミナール、特別講義などの授業風景を写真展示したり、学科の教育内容を模型化(フードシステム)し説明するなどさまざまな工夫を行った。また、当学科のキャッチフレーズとして今年発案した「安全で高品質な食料・食品安定供給システムをになう、フードビジネス・リーダー(FBL)を育成する」をアピールするなどした結果、100名を超える受験生が食品経済学科に興味を示した。

今年で7年目をむかえる3年次開講の特別講義は、わが国最大手の醤油メーカー「キッコーマン(株)」の代表取締役専務である吉田節夫氏を招き、9月7日(月)～9日(水)の3日間実施された。

学科人事では、清野誠喜助手、松本有子副手が退職(平成10年3月31日付)され、筑波大学から樋口貞三教授が、当学部国際地域開発学科卒業生の前田由美副手がそれぞれ着任した。また、大矢祐治専任講師が助教授に昇格された(同年4月1日付)。学科のより一層の充実・発展を期待したい。

計 報

いもづる会前副会長の角井信氏は肝不全のため、1998年2月16日に永眠されました。享年71歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。
(木島 実)



あすなろ会

◇林学科・森林資源科学科◇

連絡先 木材科学・工学研究室
0466-84-3668 濱本 和敏

あすなろ会創立45周年・林学科創設50周年

記念祝賀会を開催

平成9年10月17日(金) ホテルパシフィック (メ)



リディアン東京)において、あすなろ会(林学科校友会)創立45周年および林学科創設50周年を記念して祝賀会が開催された。この記念祝賀会には、来賓を含め全国から167名のご出席をいただき、和やかな雰囲気の中、大変盛会であった。また、当日は、学科カラーである黄色地に緑のあすなろの葉を配したデザインのあすなろ会会旗もお披露目され、学科ならびにあすなろ会の益々の発展を祈念しつつお開きとなった。

平成9年度あすなろ会会長賞受賞者

平成9年度あすなろ会会長賞に下記の6名が決定し、平成10年3月25日にホテルセンチュリー相模大野で行われた卒業記念謝恩会にて記念品の銀盃が贈られた。受賞者は下記の通り。

- 大滝和佳子(森林・緑地造成ゼミ
助福島県きのこ振興センター)
- 大貫 優子(林業経営ゼミ
山梨県庁林政部)
- 相見 光(木材科学・工学ゼミ
東京大学大学院)
- 小山 恭子(森林・緑地保全ゼミ
㈱山田総合事務所)
- 梶尾有佳子(森林動物ゼミ
鈴鹿森林組合)
- 後藤英次郎(住宅・流通ゼミ
後藤林業(自営))

新入生歓迎会が開催される

平成10年度森林資源科学科新入生歓迎会が4月10日湘南キャンパス森林資源科学科附属苗圃において行われた。あすなろ会からご提供いただいた鷹被りの鏡割りに始まり、上級生が造った野趣あふれる料理で盛大な歓迎会となった。新入生にとっては同級生相互はもちろんのこと、教員や上級生との絶好の交流の場となり、学園生活のスタートにふさわしい会となった。本年度の新入生は176名で、内、女子が69名である。

学科の近況

昭和35年に着任以来、本学科で教鞭をとってこられた片岡寛純先生が、平成10年3月末日をもって退職された。先生の長年に亘る学科発展へのご尽力に感謝申し上げますとともに、今後ともますます活躍されますことをお祈りいたします。また、昨年末には、5年間に亘り学科副手として演習林および学科事務を担当されていた脇里枝子副手が退職



香取佳子副手

され、後任として、香取佳子副手(平成10年3月本学部農芸化学科卒業)が着任された。今後のご活躍が期待される。

事務局より

近年、学科の約4割が女子学生という状況です。しかし、不況下にあって特に女子学生の就職は大変厳しい状況です。就職に関する情報をお持ちの会員諸氏は、上記連絡先までご一報いただければ幸いです。

前報でもお願いいたしましたように、会員の動向を的確に把握するため、住所変更、氏名の変更等がございましたら、お手数でも事務局までご連絡下さい。また、今後の本校校友会活動をより円滑に行うため、すでにご案内済みの終身会費納入にぜひご協力下さいようお願い申し上げます。

本年のあすなろ会幹事会は11月に開催を予定しております。各期幹事の方々には日程が決まり次第ご連絡をいたしますので、何卒ご出席をいただきますようお願い申し上げます。

(宮野 則彦)

桜 水 会

◇水産学科・海洋生物資源科学科◇
連絡先 水産生物学研究室
0466-84-3677 小橋 二夫

「今年は夏があったの？」と聞かれて、「暦の上では夏だからあったんじゃないの」と答えざるをえないほど不順な天候続きで、照りつける太陽、白い雲、真っ青な海、これぞ水産なんて思っている輩にはフラストレーションが溜まる一方の夏でした。

不景気風が吹きまくり、さらに砒素入りカレーライス、耳慣れない毒薬や農薬混入事件などの陰湿なニュースが飛びかうばかりか、ミサイルまで頭の上を飛んでゆくご時勢、やっつけられませぬ。

こんな中、校友諸兄姉にはご健勝にてお過ごしのことと拝察致しております。

さてこの1年間、桜水会の活動状況・学科の動向などを紹介する訳ですが、毎度のことながらネタ探しに翻弄されております。

総会・懇親会・理事会・代議員会

平成9年度の総会・懇親会が平成9年10月25日(土)に銀座アスター藤沢資館で約60名の来賓・校友を集めて開催されました。当日は学部祭(藤桜祭)が行われており、校友の方々は久しぶりに六会(六会)の地に降り立ち、大学のお祭りを楽しんだ後に総会・懇親会に出席されたようです。ついでにお知らせしますが、小田急線六会駅が平成10年8月22日より六会日大前と改称されました。

平成10年度の理事会が4月と5月に開催され、評議員会への議題整理を行い、6月27日(土)に東京校舎第1会議室で評議員会が開催され、平成9年度の事業報告、決算案、平成10年度事業計画案、予算案が審議されました。審議の過程で浮き彫りにされたのが財政問題で、毎年百数十名の新会員が入会してくるのに収入は在校生が払う入会金に頼るばかりで、近い将来郵便代にも事欠くようになってしまいますので、終身会費で補填するなどの措置をとらざるを得なくなります。何か良いアイデアがあったら事務局までお寄せ下さい。



銀座アスター藤沢資館
で開かれた懇親会

馬堀のおばさん逝く

悲しいお知らせをしなければなりません。永年馬堀のおばさんで親しまれた菱倉サキさんが平成10年5月9日午前1時、老衰のため永眠されました。享年91才。

菱倉サキさんは昭和22年5月1日、日本大学農学部予科が横須賀市馬堀海岸に設置されたと同時に職員として採用され、

昭和47年9月9日の満65才の定年退職後も臨時職員として昭和53年9月30日まで31年間横須賀臨海実験所に勤務され、実験所を利用した教職員・学生の誰もお世話になっておりました。かくゆう編集子も大学1年の5月からカッター部、水産増殖学研究所の合宿で年間数十日も実験所を利用し、あけくは4年次の1年間卒業論文研究で実験所に居を移して一つとおばさんにお世話になっておりました。小柄な体で、ごつい自転車にまたがって伊勢町の自宅から通ってくる姿が目につきます。5月10日に通夜、翌日告別式が自宅においてしめやかに行われましたが、訃報を聞いて全国から卒業生が集まり、まるで同窓会の様相を呈しておりました。心からご冥福をお祈り致します。



学 科 の 動 向

水産学科1期門田定美教授は学部長4期目に入っており、益々学部の発展に尽力されておりますが、これをサポートする形で1期出口吉昭教授が東京校舎担当の次長に、11期望月 篤教授が就職指導担当に就任されております。また門田学部長は総長代理代行としての職務も兼務されております。

平成7年の学部・学科名称の改称に伴い、カリキュラムの改変を検討しております。学部の基本理念である生命科学、資源生産科学、環境科学の3分野ののりとした新しいカリキュラムとなることでしょう。

校友諸兄姉の方がもっともっと肌で感じているでしょうが、この不景気なんかありませんかね？学生の就職状況も年々悪くなる一方で、特に女子学生の就職がなかなか思うようにはいっていません。その反面、年々女子の入学が増加傾向にあり、現在の1年生では約60名、1/3強になっております。永らく女子学生零、いても1～2名の時代を過ごした我々には現在の状況は隔世の感がありますが、卒業させ、社会に送り出さなければならない立場となると苦しいものがあります。皆様には後輩達の就職についてもお骨折り頂ければ幸いです。(吉原 喜好)

工 学 会

◇農工工学科・生物環境工学科◇

連絡先 測量準備室
0466-84-3757 斎藤 公三
E-mail: Ksaito@bri.nihon-u.ac.jp

理事会・役員会開催される

本年5月23日14時より、湘南校舎2号館214講義室において理事会が、続いて215講義室にて15時より役員会が開催された。議長選出の後、事務局長より平成9年度の一般経過報告が、会計係より平成9年度の決算報告が行われ、満場一致で承認された。その他、新幹事の紹介や六会駅の六会日大前の駅名変更等も報告された後、平成10年度の事業計画案および予算案の審議が行われ、承認された。来年、会

員数が5000名を突破する予定のため、理事会および役員会とも活発な討議が行われた。また、役員会では、議長選出後、一般経過報告がなされるのが常であるにもかかわらず、事務局に対し、不況下の4年生の就職動向を心配する質疑も飛び出し、諸先輩の後輩に対する思いやりが示されるなど、良い役員会となった。

余談であるが、会議室を準備できなかったため理事会および役員会の会場が急遽、講義室に変更された。このため、議長が教壇に座り議事を進行、各理事および役員は学生の席に座ることとなった。図らずも学生の席に座らせられて、ふと昔の授業を受けていた姿をこの理事会、役員会でだぶらせた方々もおられ、郷愁に浸るいい機会となったと、意外に好評であった。



懐かしい講義室で開かれた役員会

学科の動向

故志村博康教授の後任として、水資源利用工学研究室に昨年の10月1日、丸山利輔教授が着任されました。先生は京都大学在職中、農学部長や研究科長を歴任されると共に、学外では農業土木学会会長を歴任、現在、水文水資源学会会長、水資源開発審議会委員をされています。また、研究面では農業土木学会学術賞を受賞されています。先生の今後の大いなる活躍を期待する次第です。

生物生産機械学研究室の宮本眞吾先生が本年4月より助教授に昇格されました。今後のさらなるご活躍を期待したいと思います。



(丸山教授)

事務局だより

平成10年3月31日現在、会員数は4,933名になりました。しかしこの中には住所不明の方がかなりいることは周知の事実となっております。これを解消すべく事務局はいろいろな対策をまいりました。が、皆様の御協力なしではこれ以上の効果が期待できない状況になってまいりました。従いまして、お手数と思いますが、住所変更された方、ならびに先輩や同輩の方で住所の変更をされた方をご存じて事務局にその旨をどうも知らせていないのではないと思われる人がいましたら、お手数でもご連絡下されれば幸いです。会員皆様の御協力を期待しております。

(川西啓文)

F T 会

◇食品工学科・食品科学工学科◇

連絡先 食品理化学第3研究室
03-3421-6075 竹永 章生

平成10年度理事会を開催

平成10年度のF T会理事会が7月27日(月)に日本大学生物資源科学部東京校舎で開催された。理事会では会則の改定、F T会の名称改称および役員の選出について協議された。同時に、平成10年度のF T会総会および懇親会の開催についても話し合わせ、11月14日(土)にダイヤモンドホテル(半蔵門)にて行うことが決定し、開催にあたっての各委員会が発足した。



学科の近況

伊藤眞吾先生(食品理化学研究室)は平成10年4月より教授に昇格されました。また、今春より本学科に今井正直先生(食品化学工学研究室)が専任講師として採用されました。両先生の今後のご活躍が期待されます。また、本年の9月より1年間、荻原先生(食品保蔵学研究室)はカナダへ海外出張されました。現在、学科は以下のように構成されています。

食品製造学研究室： 中村 良 教授
木村 貞司 助教授
平田 明弘 助手
食品化学工学研究室： 鈴木 功 教授
今井 正直 専任講師
陶 慧 助手
食品製造工学研究室： 鈴木 和威 教授
鈴木 公一 専任講師
阿部 申 助手



今井正直専任講師

食品理化学研究室： 伊藤 眞吾 教授
竹永 章生 専任講師
食品保蔵学研究室： 山崎 真狩 教授
梅澤 勝正 助教授
荻原 博和 専任講師
食品分析学研究室： 武田 明治 教授
千野 誠 専任講師
松藤 寛 助手
学科事務： 前川由紀子 副手
木本 直美 副手

【新任の先生からの一言】

私は昭和60年東京大学大学院工学系研究科化学工学専攻の博士課程を修了し、民間企業において研究開発業務に2年間携わりました。その間は金属抽出や液膜分離の研究を主に行っていました。その後、東京農工大学工学部に教官として赴任したのを機会に、タンパク質などを対象とした生物分離工学や酵素の利用について教育と研究を行ってまいりました。それまでのエマルションや分子集合体を扱ってきた経験からミセルやゲルといった対象に関心を持ち、研究分野が生物系に移るにともないまして、研究対象が具体的である食品化学工学の分野にも親しみをもちておりました。

このたび、図らずも食品化学工学の研究室に所属することとなり、生物化学工学に関する授業を担当させていただくとともに、食品を構成する基本的な分子単位であるタンパク質や水分子などの状態とそれぞれの分子の活性を求め、機能性の高い食品の開発に関する工学的なアプローチを研究したいと思っております。(今井正直)

事務局だより

現在、平成10年11月14日(土)にダイヤモンドホテルにて開催されるF T会の総会および懇親会の準備を各実行委員が一生懸命行っています。当日は幅広い年代の会員が出席して、会員相互の親睦が深まることを切に期待しております。

また、4年生の就職活動が例年にも増して厳しい状況となっております。会員の方で就職に関するご意見、情報などがございましたら、ぜひ事務局までご一報下さい。

(阿部 申)



拓 友 会

◇拓植学科・国際地域開発学科◇
連絡先 経営学研究室
03-3421-6437 早川 治

拓友会50周年記念事業

拓友会50周年・学科60周年の記念事業が次の通り行われた。

【記念式典・祝賀会の開催】

平成9年11月8日(土)午後3時30分より京王プラザホテル(新宿)「あけぼのの間」において厳粛に行われた。長谷川勝男常任幹事の司会で、佐藤猛拓友会副会長の開会の辞に続き、主催者を代表して近藤良三郎拓友会会長が挨拶を行い、来賓を代表して門田定美日本大学総長代理代行・生物資源科学部長からご祝辞を頂いた。その後、瀬在良男校友会本部校友会会長、茂澤果学部校友会会長、久木田賢志元副総長・学部長、山田三郎国際地域開発学科主任からもそれぞれご祝辞を頂いた。続いて、学科の発展に寄与された久木田賢志・金沢夏樹・井上嘉丸・滝川勉・柳沢豊元教授、宮崎泰子氏(宮崎宏先生追贈)や、拓友会の発展・運営に寄与された工藤正城・岡田正男拓友会顧問、北川休・木村正之参与、水野包男副会長、隠岐金蔵元事務局長の12氏に対して感謝状が贈呈された。最後に下条勝利副会長が閉会の辞を述べ、式典は終了した。

記念式典に引き続き、「あおぞらの間」で祝賀会が



京王プラザホテルで行われた祝賀会

開催された。約150名の拓友が次々と駆けつけ、正面には新調された「拓友会旗」が掲げられ井上雅也幹事の進行で、浜口喜博副会長の開会の辞で始まった。続いて主催者を代表して山田三郎学科主任、近藤良三郎会長の挨拶があり、来賓を代表して、門田定美総長代理代行・学部長、瀬在良雄校友会会長からご祝辞を頂いた。また、海外の拓友を代表して蔡桔来、張彬茂の両氏から挨拶と台湾校友会の寄せ書きの紹介が行われ、在校生を代表して、坂巻有香里さん(4年次)から挨拶があった。続いて山内二夫生物資源科学部事務局長の発声により乾杯が行われ、懇談に入った。各テーブルには発行されたばかりの「50周年記念誌」も置かれて、豊富な話題が提供された。学生服姿の米川直孝くん(4年次)他2名の在校生による日本大学校歌・応援歌のリードは宴に一層の花を添え、大津隆常任幹事の閉会の辞により、再会を約して散会した。

【50周年記念誌の発行】

拓殖科、拓植学科、国際地域開発学科と続いてきた学科と拓友会の歴史がこの一冊に網羅されているといつてよい。数多くの拓友からの寄稿もあり、充実した内容である。一冊6000円(送料込み)で販売しています。(詳しくは拓友会事務局へお訊ね下さい。)

【拓友会旗の新調】

学部名称変更もあり、拓友会旗を新調し、祝賀会において披露した。

【テレホンカードの作成】

「開発青年の像」をテレホンカード化した。

【名簿の整理】

学部校友会の記念事業の一環ではあるが、拓友会では「拓植学科」卒業生について専門家に依頼して追跡調査し、名簿の整理と拡充を図った。これまでに約1000名の消息が新たにわかった。

学 科 の 動 向

遠藤浩一教授が3月31日、定年により退職されました。長い間ご苦勞様でした。

緒田原潤一教授(国際経済研究室)が平成9年10月1日着任されました。緒田原先生は上智大学で教鞭を執られてきました。本学科では国際経済学、国際関係論を担当されます。

片岡晴雄教授(理論経済研究室)が本年4月1日着任されました。片岡先生はこれまで明星大学で教鞭を執られてきました。本学科ではマクロ・ミクロ経済学、経済統計学を担当されます。

岡あい子副手が任期満了で退職されました。後任として松永まどか副手(平成10年本学食品経済学科卒業)が採用されました。(緒方 行廣)

むつあい会

◇短期大学部農学科◇

連絡先 植物生産制御学研究室
0466-84-3745 楠元 守

総会・懇親会開催

平成10年度むつあい会総会ならびに懇親会は、6月13日(土)15時より湘南校舎で開催された。

総会は、本館第一会議室で開催され、富樫利男副会長の開会の辞・富沢寿樹会長の会長挨拶に続いて、議長に天野六江氏(4期)を選出、平成9年度一般経過報告及び事業報告を楠元事務局長が行い、報告通り承認された。さらに平成9年度会計報告と、江場秀造監事の監査報告があり、報告通り承認された。また、平成10年度予算及び事業計画も原案通り承認された。

今年度の総会は参加者が多いだろうという意見で、その準備を進めてきた。それは、むつあい会の前身である紫岳会が、むつあい会発足後も各地区のお世話で自主的な集まりを継続してきたが、これもやめるという最後の会を、神奈川で、むつあい会総会の前日(6月12日)に開催するので、全国から参集した会員が、翌日に開催されるむつあい会にも出席するだろうという理由であった。予想したよりは少なかったが、お陰様で平年の総会よりやや多い会員の参加があった。

今年は、角笛会・農学校友会の総会が同じ日に開催され、懇親会にご招待する方々が同一なので、むつあい会の懇親会は5時から、総会と同じ本館2階の第二会議室で開催され、門田定美学部長はじめ、農獣医学部・生物資源科学部校友会会長茂澤 果氏とともに各分会会長、短期大学部農学科の諸先生の臨席のもと盛会裏に終了した。また、岡元副会長の司会によりご来賓代表のご挨拶のあと、今年は



紫岳会最後の集会参加者

特別に抽選会などもあり、賑やかであった。

来年も、総会がさらに盛大に開催されるように、多数の会員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、総会のお知らせは、経費節減のために会員個々にはせず、むつあい会会報の最後のページ(8ページ目)に、囲み記事として掲載することに3年前より決定・実施されましたので、むつあい会会報で確認いただき、早めに予定の中に加えていただきたいと思います。

学科の近況

農学科では、3月に64名(47期)が卒業して正会員となり、4月に58名の新入生を迎えた。2年生は56名で、合計114名の準会員が在籍している。

卒業生の進路状況

就職状況の厳しい中であって、卒業生64名のうち編入学したものが45名で、約73%が本学の学部や他大の学部へ進学した。就職は11名、進学準備・家事等を含めたその他が8名となった。

入学志願状況とカリキュラム

平成10年度の志願状況は、平成9年度よりやや減少したものの、短大としては全国的にもトップクラスで、定員50名のところへ420名(8.4倍)の応募があった。うち69%は女子で、農学科でも圧倒的に女子が多くなり、入学者も71%が女子となって新しい時代を迎えている。このような新しい時代の流れや学生のニーズに対応するために、一昨年の入学生からカリキュラムを変更するとともに、植物生産環境コースと植物細胞工学コースに名称を変更して三年が経過し、学年進んで実施したために、昨年より新カリキュラムの完全実施ができることとなった。

人 事

楠元 守教授・学科長が、生物資源科学部へ4月から勤務替えとなったため、武田恭明教授が学科長に任命された。担当は、1年生は寺澤輝男助教授、2年生は浅野敏臣・助教授となった。渡辺慶一助教授は、半年間のニュージーランド留学から多くの成果を挙げて帰国され、張り切って職務に復帰された。

事務局から

会員総数は、2,881名となった。住所変更・住居表示変更や結婚などによる改姓別などがあった方は、ご面倒でも事務局までお知らせ下さい。住居表示変更・住所変更などで、会報が配達できない会員が多くなっています。(楠元 守)

生活環境学科校友会

◇短期大学部生活環境学科◇

連絡先 環境科学研究室
0466-84-3750 飯塚 純

平成9年度総会・懇親会

11月21日(金)横浜中華街万珍楼において開催されました。幼い子供さんを今日は夫に任せて来たという会員もあり、若者ばかりだった本会も今後は母親、父親会員が主流になるという当然のことを実感



懇親会でビンゴゲームを楽しむ

しました。スーツ姿が初々しい若い男性会員がそれぞれに装った女性会員を引き立てる華やかな会場で、茂澤学部校友会々長始め各分会会長、現職の教員のはか元学科長も参加されて、おいしい中華料理を味わいながら旧交を暖めて一夕を過ごしました。軽井沢の新入生研修以来おなじみのビンゴゲームを皆で楽しみました。

卒業・入学、新会員・準会員へのプレゼント

今春の卒業生は108人、うち男子7人。卒業式の日、校友会入会を祝って新卒業生に例年と同じく農場生産の赤いバラを添えて各自の姓のスタンプ印を贈りました。

平成10年度の新入生は例年になく多い21人の男子学生を含む109人でした。準会員になられた新入生にも例年通り軽井沢研修のレクリエーションの賞品と5月末の運動会に着るオリジナルTシャツを贈って連帯感を強める一助といたしました。



一年生歓迎運動会に
そろいのTシャツで

学科の近況

学科長の交代

この一年、教職員の顔触れには異動がありませんでしたが、3年間の任期を終えられた井上勇学科長に代わって、4月より生物環境工学科の森嶋 博教授が当学科の学科長に任命されました。

学外研修

住環境特別演習として建築、庭園、町並などの見学が例年通り京都、奈良などで実施されました。食生活特別演習は平成9年度は高山の食文化を巡る一泊二日の旅をしました。バスで行くのに時間がかり現地滞在時間が短かった恨みはありましたが、飛騨民族村に保存されている合掌造り民家など、宿舎での豊かな伝統食料理、朝市、帰途は静岡県環境衛生科学研究所での講義と見学など多くの経験をしました。

4月には、例年通り新入生の軽井沢研修が有志2年生と全教職員とともに実施されました。

技能検定試験

在学生が当学科内で受験した英検の平成9年度合格者は、2級6人、準2級24人でした。情報処理のワープロ技能認定試験では1級3人、2級4人、3級11人、表計算検定では1級2人、2級8人、3級11人が合格しました。

卒業生の進路

東京セキスイハイム建設(株)、東京三菱銀行、ファミリーマートなど、3月末までに就職を決めた人は28人でした。

生物資源科学部への編入学生は41人、このうち12人が3年次への編入だったことは従来原則2年次への編入しか認めなかった学部の方針が大きく変わった点です。9年度では各学科ごとに3年次編入枠が示されましたが、過渡期を経て今後は、他学部、他大学への編入と同じく3年次編入が原則となることでしょう。

日大経済学部へ1人。他大学への編入は茨城大3人、金沢大、宇都宮大、静岡大、東京水産大、東京農大、東京家政学院大、二松学舎に各1人の10人でした。生物関係の学部学科が中心で、全員3年次編入でした。その他短大の保育科に1人、香川栄養専門学校など専門学校に13人が進みました。

事務局より

平成10年度総会、懇親会は11月20日(金)夕刻開催の予定です。今からこの日の予定を開けておいてください。

住所、氏名に変更のあった方は飯塚教授へご連絡ください。卒業生の消息に関して耳寄りな話などもお聞かせください。(大川 いづみ)

応用生物科学科校友会

◇応用生物科学科◇

連絡先 分子微生物学研究室
0466-84-3705 中嶋 睦安

BS校友会会員の皆様へ

応用生物科学科(BS)校友会会長の太谷です。応用生物科学科校友会は今年で7年目を迎え、今春、その第7期生121名を加え、会員数968名の団体になりました。

平成10年度の総会・懇親会は11月7日(土)を予定しております。今回の総会は昨年同様、校友会の運営活動に関する議論を行う予定です。これまで、本校友会は、総会・懇親会への出席者が少ないことや、校友会費徴収に関する問題など慢性的な問題を抱えております。これらの問題を解決するためには、会員の皆様のご協力が不可欠です。応用生物科学科校友会会員の皆様、校友会発展のためにご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

第7回総会の開催について

ご承知の通り、本応用生物科学科校友会は、第4回総会におきまして総会の開催時期を春季から秋季に変更することが決定され、それにより、前年度の第6回総会は、平成9年10月18日(土)14:30より、湘南キャンパスの第一会議室において開催され、平成9年度事業報告、会計決算報告、および平成10年度事業計画、平成10年度予算案に関する案件について審議・承認をいただきました。

次回の、平成10年度(第7回)総会・懇親会は来る11月21日(土)15:00より、湘南キャンパスNU SCホールにおいて、開催を予定いたしております。多数の会員の皆様ご参加くださいますようお願い申し上げます。

校友会の現状および本年度の活動行事

本校校友会会員は、上述の通り、今春、121名の平成9年度卒業生を新たに迎え(写真)、968名となりました。なお、準会員の応用生物科学科在籍学生数は、現在、595名で、学年別には4年次生142名、3年次生162名、2年次生136名、1年次生155名となっております。

今年度の校友会活動としては、恒例の研究室対抗ソフトボール大会(第7回)の開催を、例年通り10月10日(土)の体育の日に、湘南キャンパスグラウンドで予定いたしております。この大会は、会員(卒業生)の皆様の参加も可能となっておりますので、是非ご参加いただき、出身研究室に戻って後輩たちと楽しい一日をお過ごしいただきたと思っております。

学 科 の 近 況

ご存じの通り、学科は8研究室で構成されております。現在、スタッフは17名ですが、今春、移動がありましたのでご報告いたします。

生体分子生物学研究室の綾部真一先生は、本年4月、教授に昇格されました。同じく、本年4月、五十嵐由衣さんが、新たに副手として着任されました。ご活躍を祈念申し上げます。

(太谷 憲司)



支 部 だ よ り

山梨県支部の活動情況

平成9年11月29日に山梨県支部総会並びに懇親会を開催し、田中高雄校友会山梨県支部長、皆川巖県議会議員等の来賓をお迎えし、盛大に開催できました。8月には当支部の事業としての県支部会員名簿が発刊となり、多数の会員のご協力により頒布数は近日中に350部以上となります。これは会員からの注文と同時に事務局理事6名全員で、会員宅を訪問販売した結果です。この事は会員の状況を知る上で大変効果的でした。又、発刊と同時に大学本部校友会事務局、校友会員の国会議員、県議会議員、校友



会県支部、角笛会県支部の支部長等の皆様方に贈呈いたしました。

今後の予定としては、県支部理事会の開催、県下関係高校への資料の送付、平成12年予定の県支部総会の準備等であります。そして会員名簿を手がかりとして県支部の組織強化と活動内容の充実に努力することです、この為にも県支部総会の内容の在り方について、検討をと考えて居ります。大学本部校友会の先生方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

連絡先 山梨市下神内川187-1
TEL 0553-22-2400 小越 昭雄

高知支部創立10周年記念総会

平成10年8月29日高知県支部設立10周年記念総会には、茂澤校友会長・学部より学部長代行渡部教授（獣医）内田教授（水産）のご出席を賜り高知会館に於いて23名の出席で2時より総会を開催した。

支部会長は、10年の経過報告と学部からの支援に感謝の意を述べると共に、新たな気分で出発したい



と挨拶された。

校友会長は、湘南校舎において50周年記念式典と校友会の活動報告をされ、渡部教授は学部の内容や動向と、駅の名前が8月22日には、六会から六会日大前と変わった事を話された、内田教授は学科の内容についての説明をされた。

今回の総会は、10年の節目でもあり、一層本部と支部のつながりを確認し、来年への活力源となった。

引き続き、議案にはいり第1号事業経過報告、第2号収支決算報告、第3号活動方針の中、他の支部との交流は11年に台湾支部の訪問、第4号支部会則の変更、第5号役員の改選まで、滞りなく承認された。

最後に新役員の紹介をし、新会長より一言挨拶を戴き総会を終了した。

新副会長の乾杯の音頭により懇親会に移った。懇親会の話題は支部との交流に参加したい方が多く、日程等が決まれば早く知らせてほしいとの事であった、宴も佳境に入り時間の許す限り盃を傾けた。校歌斉唱後閉会した。

新役員は下記のとおりとなりました。

記

会 長 中西 正昭（農化）

〒780-0956高知市北端町76
0888(44)5154

副会長 森田 稔雄（畜産）

〒780-0032高知市加賀野井1-13
0888(73)1356

事務局 前川 卓也（農）

〒780-0054高知市相生町6-3
0888(83)5201

山形県支部の近況

第6回山形県支部総会は平成10年2月21日、市内ホテルキャッスルにおいて、学部からは学部次長出口吉昭先生、日本大学校友会県支部からは片桐博美氏、日本大学山形高等学校・中学校からは小林晃先生を来賓としてお迎えし、会員50名の参加で開催しました。

櫻井麻男副支部長の開会の挨拶で始まり、木戸啓二副支部長挨拶に続いて、小松文嗣（獣医）議長で協議が進められました。



議題は（1）平成9年度経過報告・安達勇（植物資源）、（2）平成9年度会計報告・黒沼美秋（植物資源）、（3）会計監査報告・井上達磨（獣医）（4）平成10年度予算案・黒沼美秋の報告および提案ですべて満場一致で決議されました。

続いて講演に入りました。今回は食品経済学科が担当になり、講師として山口忠氏（前、県立庄内農業高等学校長）「1億人評論家は日本の教育をどう見ているか」と題し、教育現場からの見解を話していただき会員一同、改めて時代の変遷を感じました。次に学部の現況について出口先生よりお聞きし、湘南校舎の設備の充実、受験者数の増加等に驚きました。そして片桐博美氏の乾杯で懇親会が始まりました。恒例の学科ごとの自己紹介では海洋生物資源科学科の同窓と一緒に出口先生も登壇し、現在に至るまでをユーモアを交えて話して下さったので、下町育ちの先生の歯切れの良い語り口を楽しみました。最後に参加者全員で校歌を斉唱し再会を約して散会しました。（事務局 池田 卓郎）

連絡先 山形市東原町4-19-4
TEL 023-623-4507 田中 恒一

神奈川・農獣医部会の近況

佐々木会長逝去・後任に高坂氏就任

初めに会員の皆様大変悲しいお知らせをしなければなりません。

昭和53年当部会設立以来、会長として会の発展にご尽力された佐々木弘康初代会長が、20周年記念総会と祝賀会を目前にした平成9年10月19日、病氣療養中のところ家族、校友の願いも虚しく他界されました。生前の会長の誠に見えなくて明るく、面倒見のよいお人柄と人徳が本会をこのように大きく発展させたものと思います。前会長の遺徳を偲び、皆様と共にご冥福をお祈り致します。



本会創設20周年という節目の記念すべき総会と祝賀会は、佐々木前会長のご供養を兼ねて、11月22日、生物資源科学部湘南校舎NUSCホールに約100名の来賓と会員が集い盛大に開催されました。その席上、不肖、私が後任会長に推挙され、諸般の事情に鑑み受諾就任致しました。今後は、いもづる会事務局5期15年、学部校友会事務局2期6年間の経験を活し、微力ながら最後のご奉公と思い、前会長の意思と精神を継承し、皆様に喜んでいただけるような楽しい会へと発展させる決意でありますので、会員各位の更なるご支援とご協力をお願いする次第であります。

尚、平成10年度の総会と親睦会を下記により開催することに、8月28日の役員会で決定致しましたので、同期生・先輩後輩多数誘い合いご出席下さるようお願い致します。（会長 高坂 鉄雄）

記

日時 平成10年11月21日（土）
総会17時（第1会議室）
懇親会18時（NUSCホール）
会場 生物資源科学部湘南校舎（六会日大前下車）
会費 8,000円
但し、同伴者および平成8・9・10年3月
卒業者・在学生 5,000円

連絡先 藤沢市亀井野1866
日本大学短期大学部
環境生態学研究室
事務局長 浅野 絃臣
TEL 0466-84-3747

記念式典・記念祝賀会をふり返って

記念事業総務委員会委員長

副会長 富澤 寿樹

暑くて長い一日が過ぎて私達式典と祝賀会のスタッフはやっと肩の荷がおりました。

無事この記念事業を終えることができましたのも各分会の会長、本会の事務局の先生方そして分会の事務局の先生方が成功へと心一つにしてご協力下された結果と存じます。有難うございました。そしてまた50周年記念にふさわしい事業を行うことができましたのは平素からご高配ご指導をたまわりました多くの会員の皆さま方、先生方そして大学当局のご協力のお陰でありまして心より厚くお礼申し上げます。

7月11日は梅雨の最中であり式典会場と祝賀会々場は離れているため雨が降れば皆さま方の移動に大へんご不便をかける心配がありました。空は私達に味方してくれました、お客様は校内を散策され祝賀会々場へすまれました。本当に感謝の日でした。

私は日頃から式典は厳粛に祝賀会は和やかにと願っておりました。自画自賛になりますが式典は誠に厳粛そのものでした。それは木村、本江両先生が手伝

いの学生と共に何回もリハーサルを繰り返し、努力された結果にほかなりません。頭のさがる思いが致します。

祝賀会は堅くならないようにと開会のご挨拶をなるべくくだけて申し上げたつもりでございます。そして司会の村田副会長にのせられて終始和やかな雰囲気であることができた近藤副会長の閉会の辞でほんとに致しました。

半世紀の間、大学と校友会は車の両輪で発展してまいりましたがこれからは両輪は勿論ではありますが坂道を登る大学の後押しをするのが校友会の役目ではないかと存じます。今後とも微力ながら協力を惜まず大学の発展を念願致したいと存じます。

終わりにになりましたが当日ご出席の方々にお持ちかえり頂きました記念の置時計にあります小さな真珠は皆さま方のご健康とご長寿を心から祈願致したものでございます。

どうぞ今後共に本会のためによりよくご協力の程をお願い申し上げます。

本当になった、湘南の夜の夢

“らっせーらー、らっせーらー”

“らっせえ、らっせえ、らっせーら”

今年も湘南ねぶた祭りが8月8、9日に開催されました。去年よりも増して、華やかなお祭りになりました。それというのも、3台のねぶたが町を練り歩いたからです。

昨年、私は飛び入りで湘南ねぶた祭りに参加しました。この時ねぶたは1台しかなく、「日本大学からもねぶたがでたらもっと華やかになる」と、そう踊りながら夢見ていたことが、現実のことになったのです。今年は、日本大学も協賛し大学教職員・学生約150人が踊り手として参加しました。自分の大学のねぶたの前で、大学の代表の1人として踊れるのです。こんなにうれしいことがあって良いのでしょうか。私は、時間の許す限り楽しもうと思いました。

本番前、全員がおそろいの浴衣を着用し、青い鈴を思い思いの場所にくり付けていました。参加者のほとんどの学生が、ねぶた祭りを初めて体験する人ばかりです。学生の中には、浴衣を自分で着ることができない者もいました。

しかし、始まってしまえば、あとはお祭りの流れに身を任せるだけです。威勢の良い掛け声、飛び跳ねるたびに鳴る鈴の音、ねぶたの中に灯る明かり、



人々の熱気。すべてのものがうまく溶け合っているようでした。不思議な一体感が感ぜられ、見知らぬ人と手をつないで踊ったり、我を忘れるほど飛び跳ねました。最初は恥ずかしがって、ただ歩くだけの学生も雰囲気につられて跳ね出しました。ねぶたを引く人もテンションが上がっていき、ねぶたを回転させる数がだんだん多くなっていきました。ねぶたが回転すると、観客も跳人もその猛々しさに魅了されます。思わず拍手を忘れてしまうほどです。我を忘れると、2時間という時間は本当に短いものです。

地域と一体となるイベントを開催することは、学生にとって良いことだと思います。大学は講義を受けるだけのところではなく、すべてのことを勉強に置き換えられる場であると思います。そのような環境を作り上げるには、地域の協力が不可欠です。六会には良い環境が整っています。このようなねぶた祭りに参加できる湘南六会は何か新しいことが期待できる土地です。

平成7年卒 むつあい会 会員

現在、大学院 森林科学専攻 小林 美佐

日本大学生物資源科学部・農獣医学部校友会役員・事務局名簿

名誉会長	門田定美(水産・海洋)	"	斎藤公三(農工・環工)
会長	茂澤 泉(農化)	"	関村具由(食工・食科)
副会長	富澤 寿樹(短農)	"	大瀧博久(食工・食科)
"	近藤良三郎(拓植・国際)	"	青井幸雄(食工・食科)
"	村田 昇(農工・環工)	"	水野包男(拓植・国際)
幹事	西島羽曙(農学・植物)	"	浜口喜博(拓植・国際)
"	浅野 明(農学・植物)	"	富 樫 利 男(短農)
"	坪木良雄(農学・植物)	"	楠 元 守(短農)
"	江 刺 琢 磨(農化)	"	岡 崎 祥 子(短生)
"	木 嶋 弘 倫(農化)	"	清 水 由 佳(短生)
"	日比野 次郎(獣医)	"	飯 塚 統(短生)
"	中 川 秀 樹(獣医)	"	大 谷 憲 司(応生)
"	鎌 田 寛(獣医)	"	中 村 親 民(応生)
"	平田芳弘(畜産・動物)	"	津久井 通(応生)
"	岩間 脩(畜産・動物)	会長 青	水野包男(拓植・国際)
"	宮原晃義(畜産・動物)	副会長	小 泉 香 織(短生)
"	三 木 敏 夫(食経)	"	江 刺 琢 磨(農化)
"	村 山 進(食経)	監査	山 根 勝 次(食経)
"	安 村 碩 之(食経)	"	西山栄一(農学・植物)
"	鹿野 忠(林学・森林)	"	野田郁夫(林学・森林)
"	宮島吉夫(林学・森林)	事務局長	木村貞司(畜産・動物)
"	濱本和敏(林学・森林)	局員	本江一郎(林学・森林)
"	竹内 均(水産・海洋)	"	世良田和寛(農工・環工)
"	櫻木 進(水産・海洋)	"	丹羽美次(畜産・動物)
"	田中祥皓(水産・海洋)	"	千野 誠(食工・食科)
"	鈴木昌二(農工・環工)		

会報編集委員

農学	校友	会友	藤井	秀昭	桜工	水学	会友	吉原	喜好
紫角	笛	会友	関上	泰一	F	T	会友	川西	啓文
満喜	葉	会友	岡田	和	拓	友	会友	阿部	行中
いも	る	会友	木島	豊	む	あ	会友	楠元	守弘
あす	な	会友	宮野	実彦	生活	環境	会友	後藤	雅
					応用	生物	会友	佐藤	嘉兵
					科学	科学			

発行所 日本大学生物資源科学部・農獣医学部校友会

(湘南校舎) 〒252-8510 神奈川県藤沢市亀井野1866

(東京校舎) 〒154-8513 東京都世田谷区下馬3の34の1

電話 03-3421-8332

FAX 03-3421-4744

編集・発行 会報編集委員会

委員長 富澤 寿樹

印刷所 東京商工株式会社